

「こどもの高次脳機能障がい」を ご存じですか？

高次脳機能障がいとは？

- 病気や交通事故などで脳が傷つくことにより、認知機能が低下し、記憶することや注意・集中すること、段取りをつけること、言葉を理解・表現することに困難が生じるといった症状がでる場合があります。これらの症状は「高次脳機能障がい」と呼ばれています。
- 医療機関に入院している間は、高次脳機能障がいに気づかれない場合もありますが、退院後・復学後に学習面や行動面で困難を感じることによって、明らかになることもあります。症状によっては、高次脳機能障がいであるか判断することが難しく、適切な支援に結びつかないこともあります。
- 脳が傷ついた部位やその程度などによって、症状は多岐にわたります。また、複数の症状が組み合わさっている場合もあります。



＜高次脳機能障がいの主な症状＞

- | | | |
|---|--------------------------------------|----------|
| 1 | 覚えられない、思い出せない、忘れてしまう | 記憶障がい |
| 2 | ぼんやりしている、気が散って集中できない、2つのことに同時に気が配れない | 注意障がい |
| 3 | 段取りをつけにくくなる、優先順位が決められない、臨機応変に対応できない | 遂行機能障がい |
| 4 | 相手の気持ちが読めない、感情のコントロールが苦手、意欲が低下する | 社会的行動障がい |

その他にも、様々な症状があります。

早期に適切な支援等につながるために、何かお困りの場合は、一度ご相談ください。

「ちょっと気になる…」
「どこかに相談してみたい…」
という時には

相談窓口

大阪府内にお住まいの方（堺市以外）

大阪府障がい者自立相談支援センター

TEL 06-6692-5262

FAX 06-6692-5340



堺市内にお住まいの方

堺市立健康福祉プラザ
生活リハビリテーションセンター

TEL 072-275-5019

FAX 072-243-0202



「こどもの高次脳機能障がい」に関する実態

令和6年度に大阪市立総合医療センターが実施した実態調査結果より

Report 01

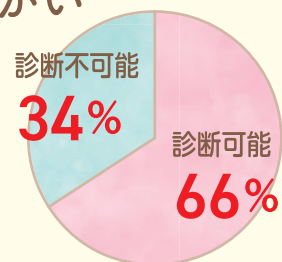
急性期病院から見た高次脳機能障がい

(小児救急を担当している府内 34 施設が回答)

こどもの高次脳機能障がいの診断

6 割程度の施設で 診断可能

多くは小児科で行っているが、小児脳神経内科のある小児医療センターへ紹介されているケースも。

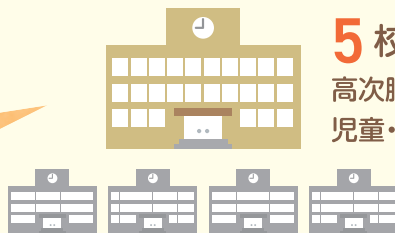


Report 02

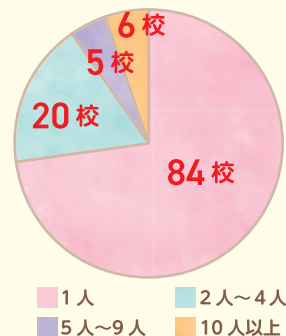
学校から見た高次脳機能障がい

(府内政令市の小中及び府内高校 594 校が回答)

高次脳機能障がいの
児童・生徒はいますか



5 校中 1 校で
高次脳機能障がいの
児童・生徒が在籍



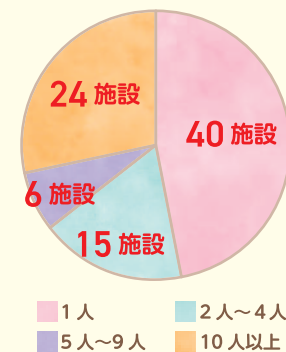
Report 03

放課後デイ

(府内の放課後等デイサービス 544 施設が回答)

「高次脳機能障がいのある児童・生徒」は
在籍していますか

約 15 % で在籍している
そのうち約 30 % で 10 人以上在籍している



保護者インタビューより

●退院して復学すると、できないことをリアルに
突きつけられた

保護者の負担

「生活全般に手伝いが必要」
「通学・通院などの外出に同伴が必要」

●日常生活の困った問題を、高次脳機能障がいの一症状
として理解しているわけではない

将来の不安

「本人の理解が不十分」
「進路や就労に関する情報が欲しい」

●発症時は死ぬかもしれないと聞いていたが、そこから
話せる・歩ける状態になって退院したので、時間がか
かっても、元の状態に戻ると信じている

医療に対して

「高次脳機能障がいの検査・診断を受ける
ことで本人の状態が理解できた」
「病院からの書類で周囲の理解が深まった」

地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センターでは、
こどもの高次脳機能障がいの支援についてまとめた「こどもの高次脳機能障がいサポートブック」を作成して
おります。大阪府のホームページにも掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

▶ <https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/5405/children-support.pdf>



このチラシは大阪市立総合医療センターが作成した「こどもの高次脳機能障がいサポートブック」をもとに大阪府が作成したものです。

〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目 大阪府福祉部障がい福祉室地域生活支援課 TEL:06-6941-0351 (代表)

令和7年11月発行